

事務事業名	消防団ポンプ車等購入事業		所属部局	消防本部		単位番号	13068									
			所属課室	消防課		課長名	芦沢俊一									
	☐ 実施計画事業		所属担当	地域消防		担当者名	森本浩人									
基本政策	基本計画体系	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目						
政 策		安全な環境づくり	事業区分	01	一般	0	9	0	1	0	3	0	2	0	0	5
施策		防災体制の充実		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設の維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)		法令根拠	消防組織法、消防法												
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載		事業費の主な内訳 (22年度)													
	南アルプス市消防団各分団の消防ポンプ自動車、並びに小型ポンプ等を最良の状態に保ち、市民の安全の確保のため、災害時等に迅速かつ安全に出動できるようにするために、老朽化した消防ポンプ自動車の更新の推進を実施する。		項目(細目) 金額(千円) 項目(細目) 金額(千円)													
			自賠責保険料 18													
			(年100万円以上の備品購入費) 34,020													
			自動車重量税 101													
		その他 18														
		計 34,157														

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	22年度活動実績	平成22年度消防ポンプ自動車2台、可搬式ポンプ購入 (櫛形分団第10・11部・甲西分団第1・2部)購入
	23年度活動予定	平成23年度消防ポンプ自動車2台 (芦安分団第2部・櫛形分団第7部)購入
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	各地区の防災力(消防ポンプ自動車)	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	老朽化したポンプ自動車を使用年数を延長しながらも、計画的に更新することによって、災害への対応が迅速的確に行われる。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	大規模地震の発生が危惧されているため、計画的に更新を実施し、さらに小型化を推進、地域の防災力向上をはかり、地域住民の安心安全を確保する。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 消防ポンプ自動車購入台数	台
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 車両耐用年数(走行距離含む)	年
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 使用年数の延長	年
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 小型ポンプ積載車の割合	%
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	16,137	34,157	35,220	34,764	34,764	34,764
	事業費計 (A)		千円	16,137	34,157	35,220	34,764	34,764	34,764
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
		人件費計 (B)	千円	8,922	8,922	7,924	7,924	7,924	7,924
		(A) + (B)	千円	25,059	43,079	43,144	42,688	42,688	42,688
	活動指標		台	1.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
対象指標	年			15.0	15.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	年			15.0	15.0	16.0	16.0	16.0	16.0
成果指標	年			15.0	15.0	16.0	16.0	16.0	16.0
	%			20.1	20.1	20.1	20.1	20.1	20.1
上位成果指標									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成15年の合併後、開始。阪神・淡路大震災や東日本大震災のおり出火防止と初期鎮圧の必要性は重大であることから、老朽化したポンプ自動車の更新は不可欠である。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	東海、南関東直下型地震などという災害が起こっても不思議ではない状況下である。老朽化した消防ポンプ自動車を更新することは、災害への対応が迅速的確に行われるものでありきわめて有効である。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	車両整備について、各資器材は高価なものであるが、それを使用して一命をとりとめた等、いくつかの事例がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	消防ポンプ車の更新は15年以上経過したものから更新していく。
H 22年度に実施した改革改善の内容	櫛形分団、甲西分団にて新規に購入するにあたり、使用できる装備は使用し経費削減に努めた。

事務事業名	消防団ポンプ車等購入事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	--------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 防災体制の目的達成のため、事業を効果的に実施する上で、有効性は高い。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 市民の安心安全の確保を目指しているものであり、災害が発生した場合には市民からの信頼も大きくなる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 適切である 【理由↓】 市民の安心安全を得る	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】 今年度までは、計画通り進んでいる。来年度以降は小型化と更新年度延長を考えている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 消火活動災害活動が出来なくなる	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 消火活動災害活動が出来なくなる
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 消防ポンプの小型化	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 削減の余地は無い。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 市内にある消防ポンプ自動車を計画的に随時更新していくもので公平性は高い。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	車両更新の推進については、引き続き計画的に実施していきたいが、更新年度の延長と車両の小型化を図っていく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☒ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☒</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☒	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について 今後は車両の小型化を図っていく。 計画的に年数にて買い替えをおこなっているが、車の状況やポンプの状況をもっと精査する。	(5) 事務事業優先度評価結果																					
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 計画的に入れ替えは行なうが、消防団また地域の方などの意見も拝聴し前向きに進める	成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																					